

福井県の県政ビジョンと 財政運営



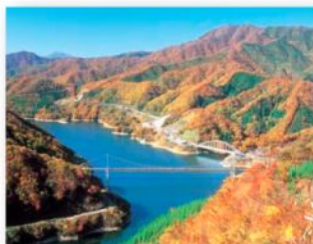
春の丸岡城



福井県立恐竜博物館



夏の水島



秋の九頭竜湖



越前ガニ



冬の一乗谷朝倉氏遺跡

福井県の県政ビジョンと財政運営 目次

1. 福井県の概要

福井県のすがた 人口と経済規模	3
福井県のすがた「幸福度 日本一」	4

2. 福井県の県政ビジョン

マニフェスト「福井新々元気宣言」	6
(1) 元気な産業	
技術と戦略で勝ち抜く福井の産業	7
(2) 元気な社会	
日本のモデル「福井の教育」	8
すぐれた医療と支えあいの福祉	9
若者のチャレンジと女性の活躍を応援	10
(3) 元気な県土	
県土に活気の高速交通時代	11～12
原子力の安全対策を見直し信頼へ、 研究開発で貢献	13～15

3. 福井県の財政運営

(1) ①福井県普通会計歳入決算の推移	17
②福井県普通会計歳出決算の推移	18
(2) 財政健全化法における財政指標	19
(3) 地方債残高の状況	20
(4) 地方債残高に対する実質的な負担割合	21
(5) 財政調整基金等の残高	22
(6) 企業会計等の財政状況	23
(7) 出資団体の経営状況	24
(8) 平成23年度普通会計バランスシート	25
(9) 平成24年度福井県当初予算	26

4. 行財政改革の実施

(1) 第三次行財政改革実行プランについて	28
(2) 第三次行財政改革実行プランにおける 財政指標の目標	29

5. 福井県債のご紹介

(1) 市場公募債の発行状況	31
(2) 平成24年度の発行計画	32
(3) 平成24年度第1回市場公募債のご紹介	33

1. 福井県の概要

福井県のすがた 人口と経済規模

人口	806,314人	全国43位	(平成22年)	平成22年国勢調査
面積	4,189.88km ²	全国34位	(平成23年度)	全国都道府県市区町村別面積調
県内総生産	3兆6,628億円	全国40位	(平成21年度)	県民経済計算年報



福井県のすがた 「幸福度 日本一」

ふくいでの生活は魅力たっぷり

ふくいの立地環境

- 福井県は別名「越山若水」。豊かな緑や水に恵まれています。
- 関西・中京圏から福井県までは、電車や車で約2～3時間。新快速電車が関西から敦賀まで運行。



名水百選：瓜割の滝(うりわりのたき：若狭町)

ふくいのライフスタイル

世代間の支え合いや地域での助け合いなど「つながり」や「絆」を大切にする風土。

- ・共働き率が高い(36.4% 全国1位)
- ・三世代同居率の高さ(17.6% 全国2位)



高水準の三世代同居率

ふくいの食事

福井県で誕生した「コシヒカリ」は、美味しいお米の代表格。また、地下水をたっぷり含む「福井のおいしい水」は、ミネラル分が豊富。2つが揃う福井県では、おいしさ満点のご飯が食べられます。



コシヒカリ

「日本一幸せな県」の評価(「47都道府県の幸福度ランキング」総合1位)

幸福度の指標

生活・家族部門

(出生率、保育所収容定員比率など)

3位

労働・企業部門

(離職率、正社員比率など)

1位

安全・安心部門

(交通事故件数、老人福祉費など)

1位

医療・健康部門

(10万人あたり病床数、10万人あたり自殺死者数など)

9位

2. 福井県の県政ビジョン

マニフェスト「福井新々元気宣言」

ローカル・マニフェスト

「福井新々元気宣言 ふるさとに夢と希望そしてもっと活力を」

(平成23年5月)

平成
15
年

ローカル・マニフェスト運動スタート
「福井元気宣言」により、マニフェストの先駆けとして県民に政策を訴えかけ

平成
19
年

「福井元気宣言」の全国に誇る成果を確かなものにし、さらに県民の暮らしの質を高めるため「福井新々元気宣言」を掲げる

平成
23
年

三期目に当たり、「ますます元気な福井」に向け、「福井新々元気宣言」を掲げる

1

若者も女性も高齢者も、夢と希望を持てる「新ふるさと構想」の県づくりを推進します。

2

グローバル化や地域間競争に果敢に立ち向かい、大きな構想と行動力によってアジアにチャレンジします。

3

福井だからこそできる「地方からの政策」を展開し、成熟度の高い地方自治をめざします。

4

楽しく便利な「新交通ネットワーク計画」を進め、県民の手による美しい県土づくりを広げます。

「福井新々元気宣言」の4つの「元気」と12の政策

I 元気な産業

- 1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業
- 2 新しい方向をひらく農林水産業
- 3 観光とブランドを産業の柱に

II 元気な社会

- 4 日本のモデル「福井の教育」
- 5 すぐれた医療と支えあいの福祉
- 6 若者のチャレンジと女性の活躍を応援
- 7 日本一の安全・安心(治安向上から治安実感へ)
- 8 豊かな環境、もっと豊かに

III 元気な県土

- 9 県土に活気の高速交通時代
- 10 原子力の安全対策を見直し信頼へ、研究開発で貢献

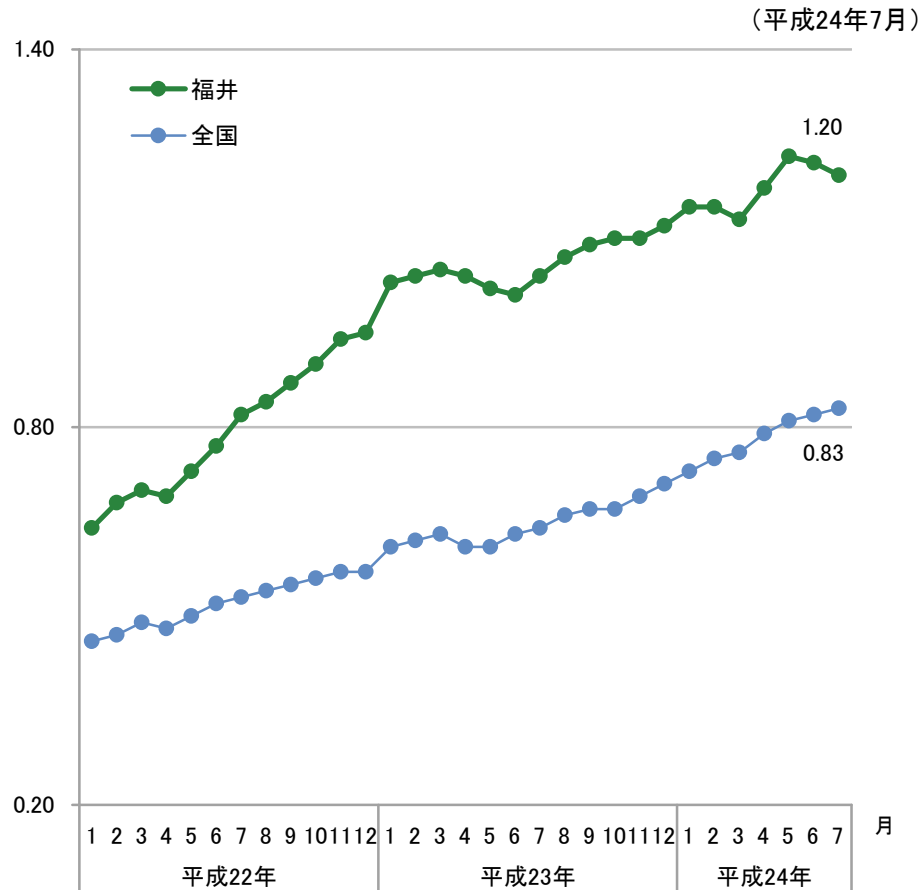
IV 元気な県政

- 11 国体めざす県民スポーツ、生活のなかに楽しむ県民文化
- 12 「希望ふくい」のふるさとづくり

行財政構造改革

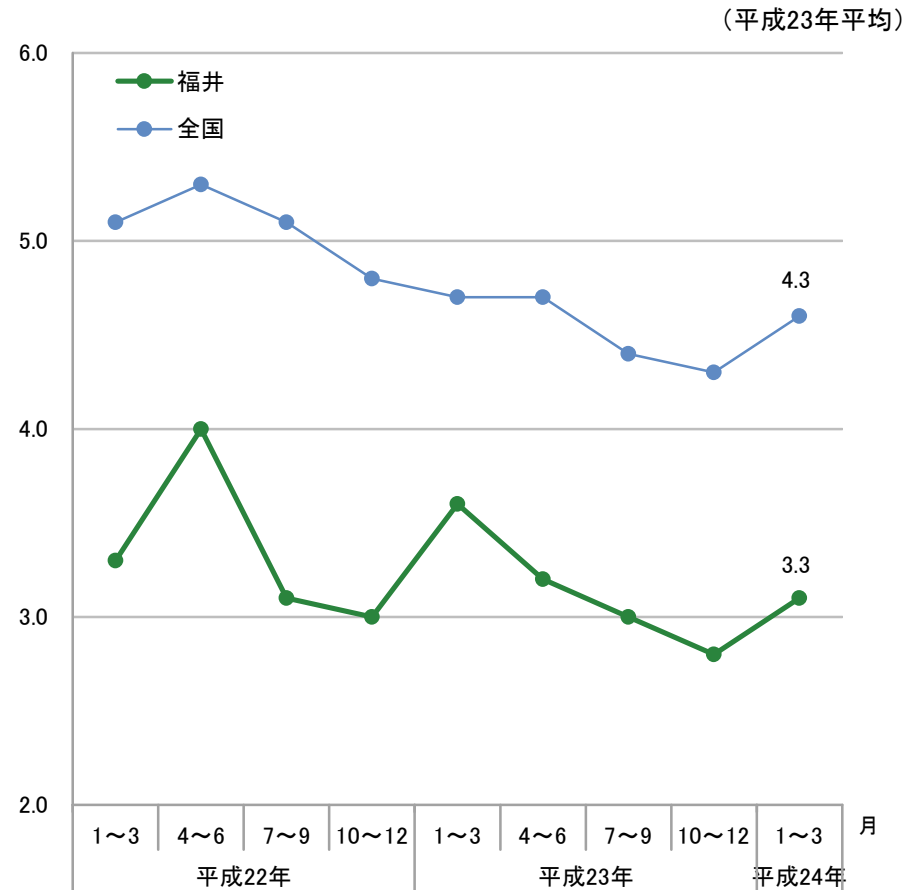
(1) 元気な産業 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業

有効求人倍率 全国1位



労働市場月報

完全失業率 全国で2番目に低い水準

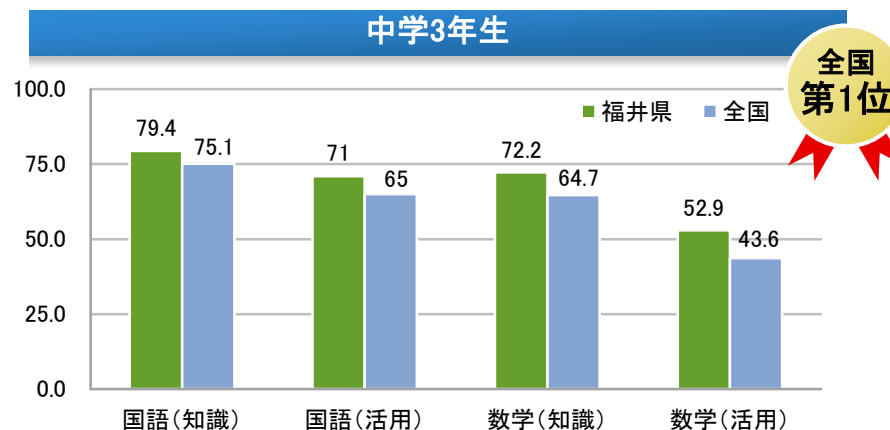
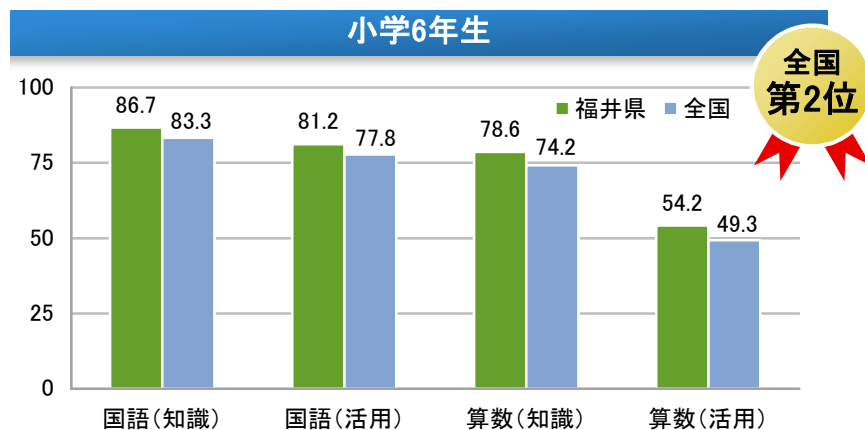


労働力調査

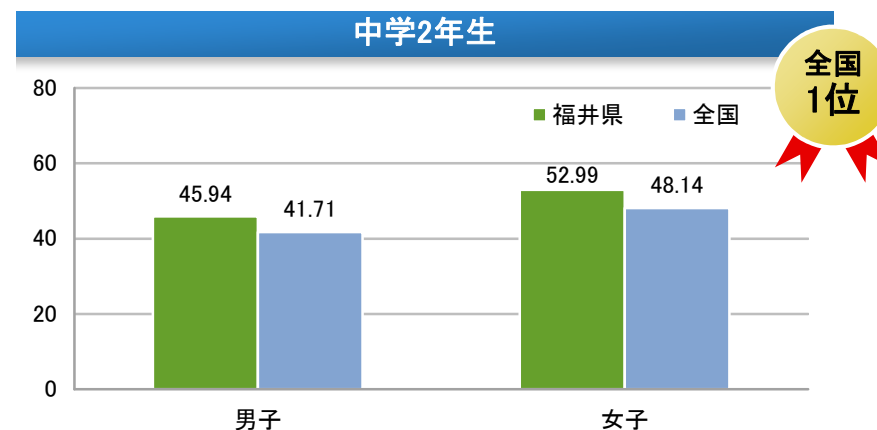
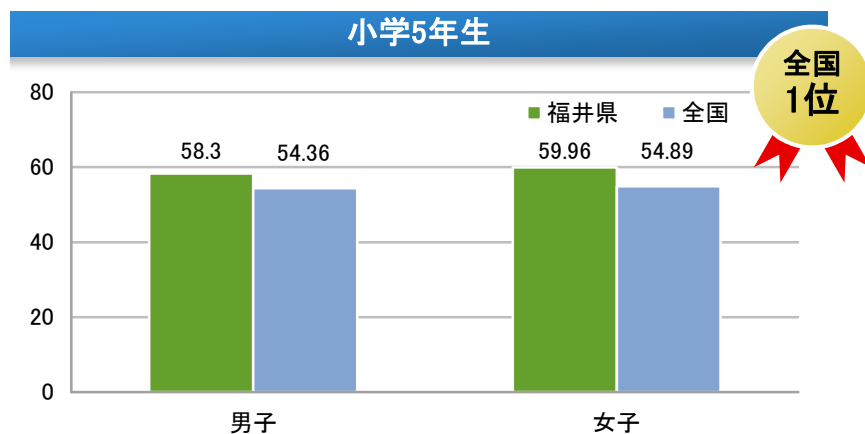
(2) 元気な社会 日本のモデル「福井の教育」

福井県は文武両道の教育環境 学力・体力日本一！

■ 平成22年度全国学力・学習状況調査における各教科別正答率



■ 平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点



(2) 元気な社会 すぐれた医療と支えあいの福祉

健康長寿の福井県

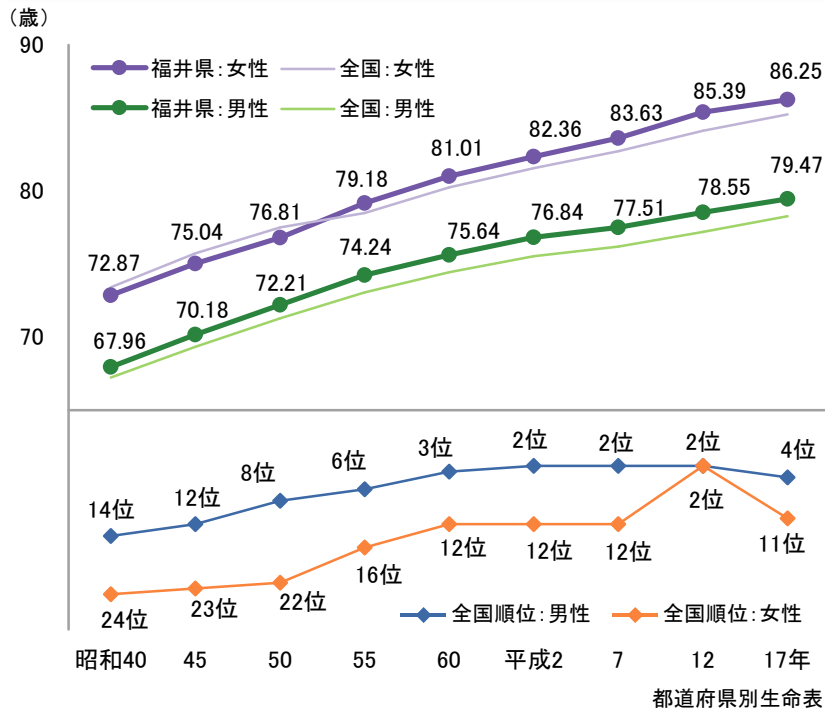
平均寿命
男性 全国4位
女性 全国11位

全国上位の
長寿県!

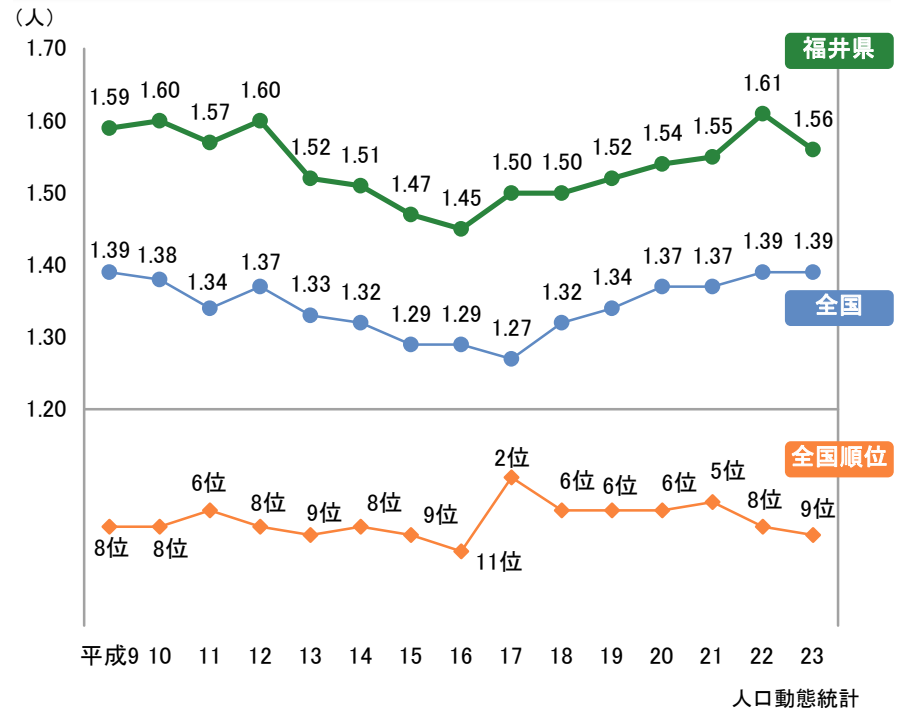
合計特殊出生率
全国上位レベル!

子どもを産み
育てやすい県

平均寿命と全国順位の推移



合計特殊出生率と全国順位の推移



(2) 元気な社会 若者のチャレンジと女性の活躍を応援

ゆとりと生きがいある福井県

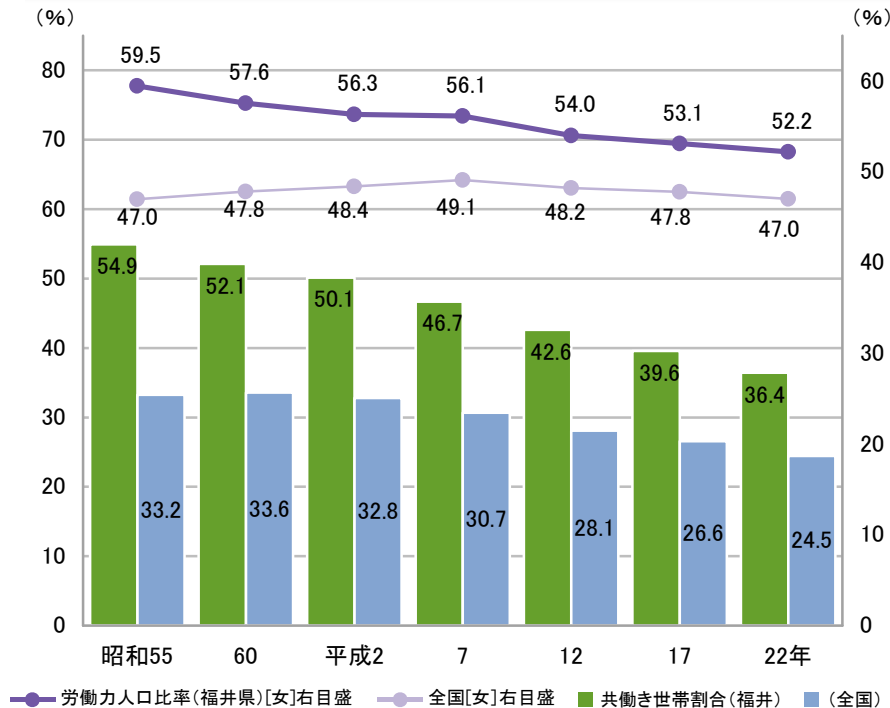
労働力人口比率
(女性の比率は全国1位)
共働き世帯割合

全国3位
全国1位

よく働きしっかり蓄える
県民性

貯蓄現在高 全国5位

労働力人口比率(女)と共働き世帯割合



貯蓄現在高[勤労者世帯](1世帯当たり)

順位	都道府県	貯蓄現在高 (千円)
1位	香川県	15,794
2位	岐阜県	15,620
3位	奈良県	14,930
4位	滋賀県	14,756
5位	福井県	14,610
—	全国	11,779

平成21年全国消費実態調査

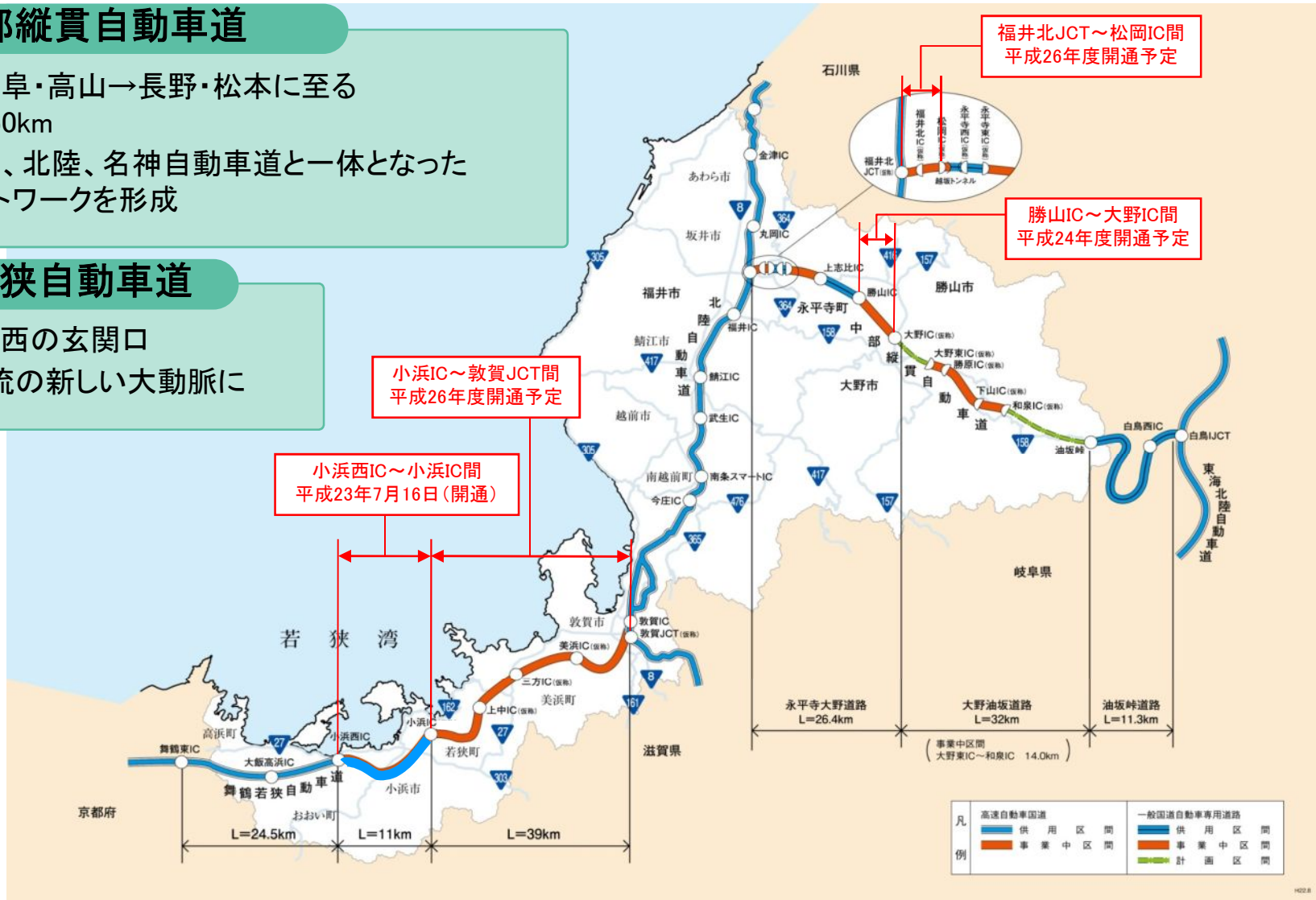
(3) 元気な県土 県土に活気の高速交通時代

中部縦貫自動車道

- 福井→岐阜・高山→長野・松本に至る
全長約160km
- 東海北陸、北陸、名神自動車道と一体となった
環状ネットワークを形成

舞鶴若狭自動車道

- 福井県の西の玄関口
- 人流・物流の新しい大動脈に



(3) 元気な県土 県土に活気の高速交通時代

北陸新幹線

整備状況（金沢・敦賀間）

- ・昭和48年11月／整備計画決定
- ・平成8年3月／小松・南越間の工事実施計画認可申請
南越・敦賀間のルート公表
- ・平成17年4月／富山・白山総合車両基地間フル化工事認可
福井駅部工事認可
- ・平成17年12月／南越・敦賀間の工事実施計画認可申請
- ・平成21年2月／福井駅部工事完成
- ・平成24年6月／金沢・敦賀間
フル規格工事認可



早期完成・開業要望区間
平成37年度開業見込み
(金沢・敦賀間) 125km

平成26年度末完成予定
(長野・白山総合車両基地間)
240km



《凡例》

- 開業区間
- 工事区間
- 新規着工区間
- 駅・ルート未公表

経済波及効果

- 金沢・敦賀間の収支採算性 102億円/年
- 敦賀開業で発生する便益 9,170億円(50年累計)

(3) 元気な県土 原子力の安全対策を見直し信頼へ、研究開発で貢献

原子力発電関係

1 原発の位置付け

- 政府は、革新的エネルギー・環境戦略を策定し、今後のエネルギー・環境政策については、不断の検証と見直しを行いながらの実施を決定。
- エネルギーの安定供給は、国民生活の安定と産業の発展、国家の安全保障にかかわる最重要事項。
- エネルギーの問題は、長期的な視点に立って、再生可能エネルギーや原子力などのバランスを考慮し、多元化をスムーズに進めることが必要と考えている。

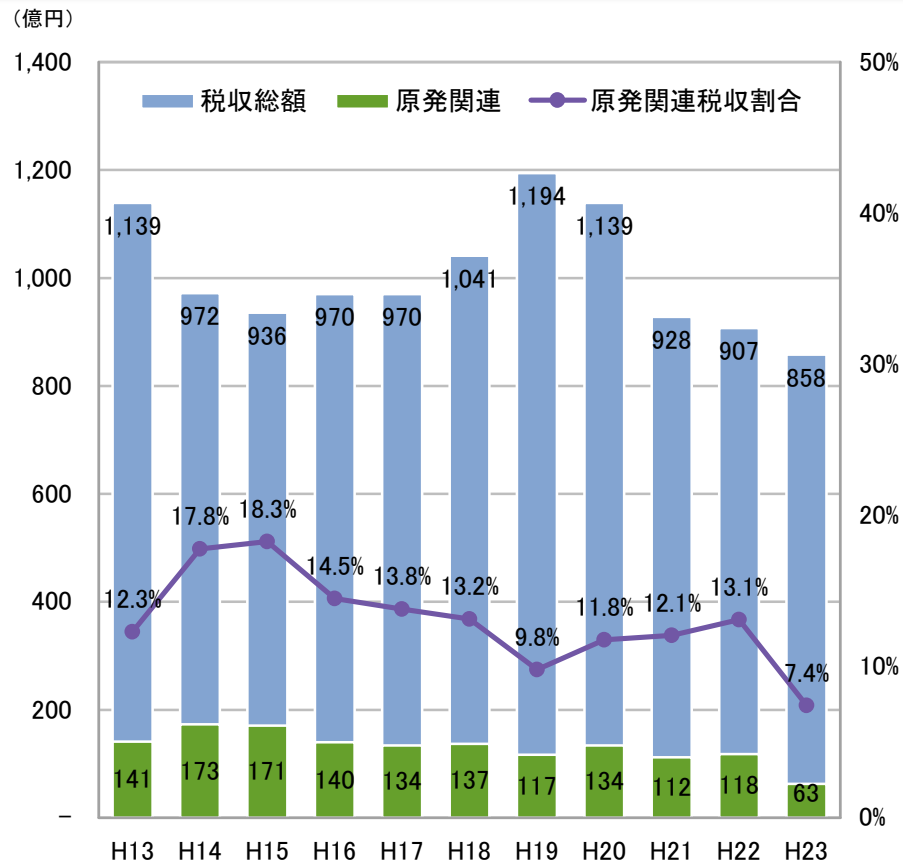
2 原発停止による財政への影響

- 原子力関連の歳入は、核燃料税は出力割による税収が年60億、また電源三法交付金は安全対策など必要に応じて交付されるものがあり、直ちに財政運営に影響を及ぼすような減収はない。
- しかし、原発ゼロの状況は、立地地域はもとより県全体の経済や雇用、県民の暮らしに大きく影響するとともに、県財政にも影響が及ぶ。
- このため、6月16日の野田総理との面談の際、「国策によって廃炉といった議論が進む場合には、国の特別立法等による地域の支援が必要」と要請した結果、国からは、「廃炉といった場合などに対応し、地域の経済や雇用に影響が生じないよう最大限努力する」との回答を得ている。

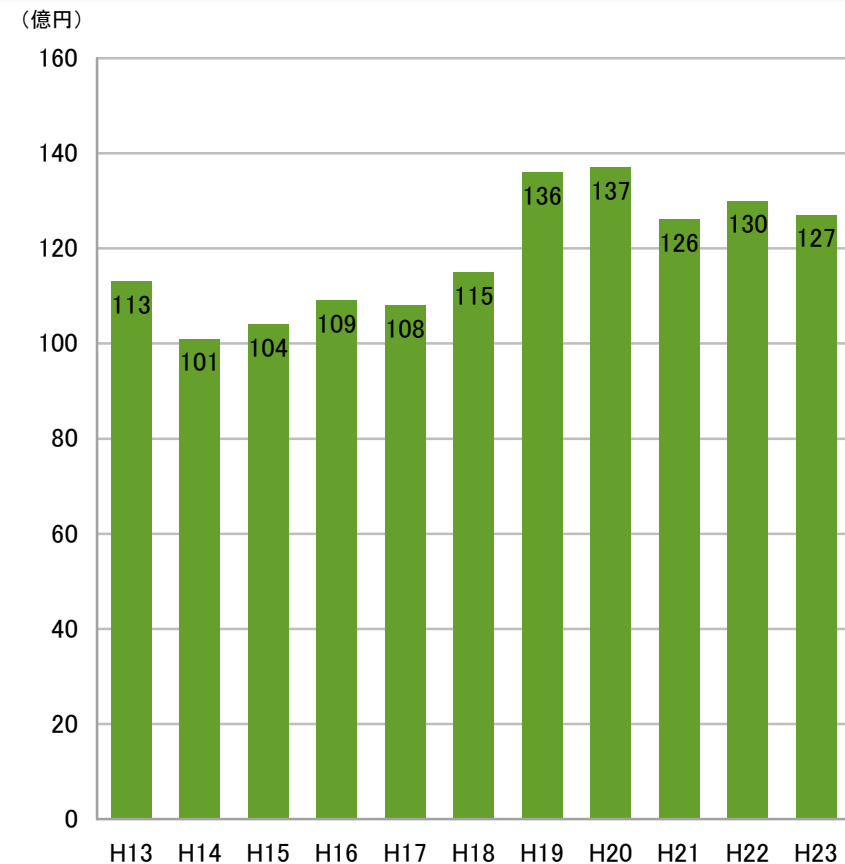
(3) 元気な県土 原子力②

現状の原発関連収入

福井県の原発関連税収額

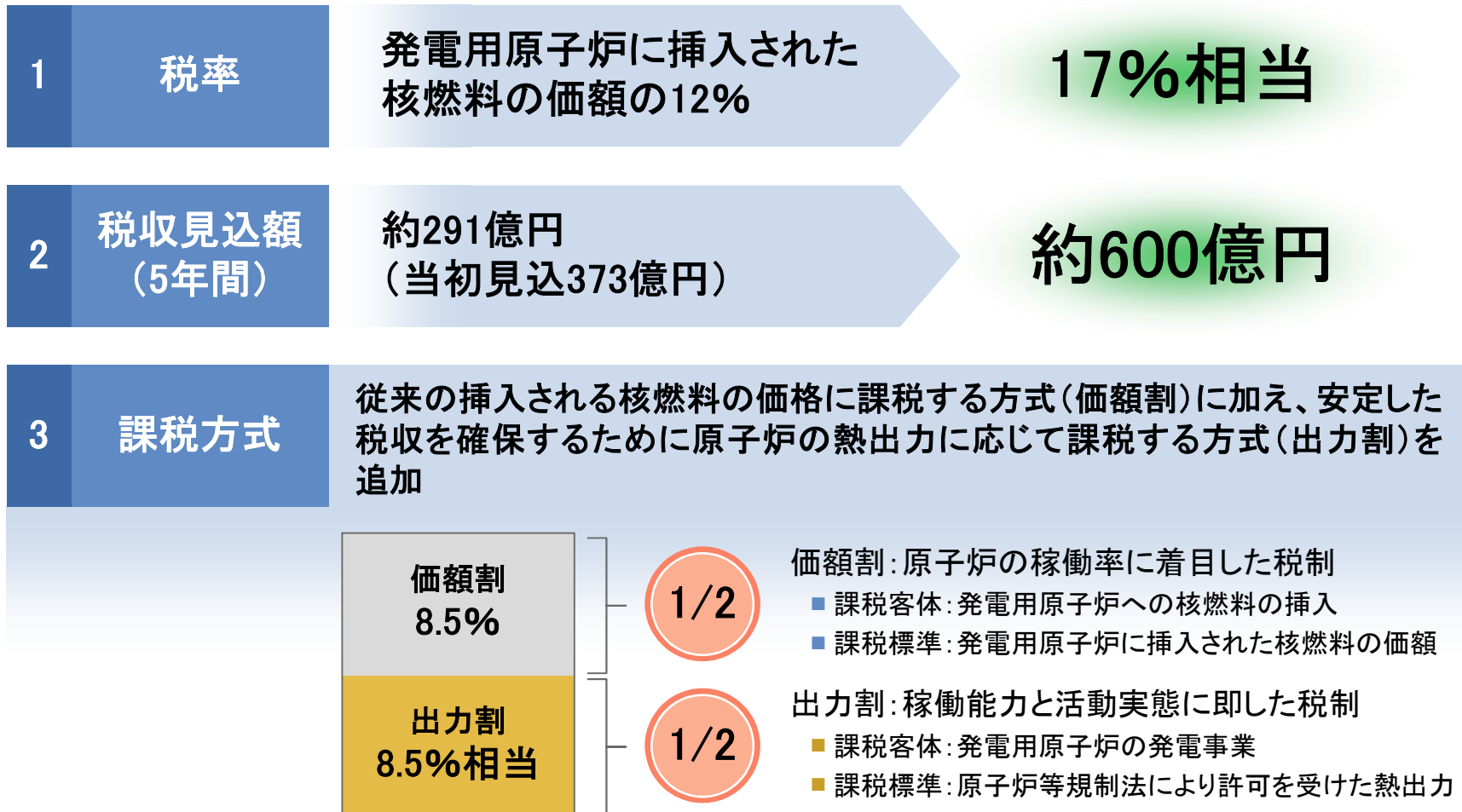


電源立地地域対策交付金の交付額



(3) 元気な県土 原子力③

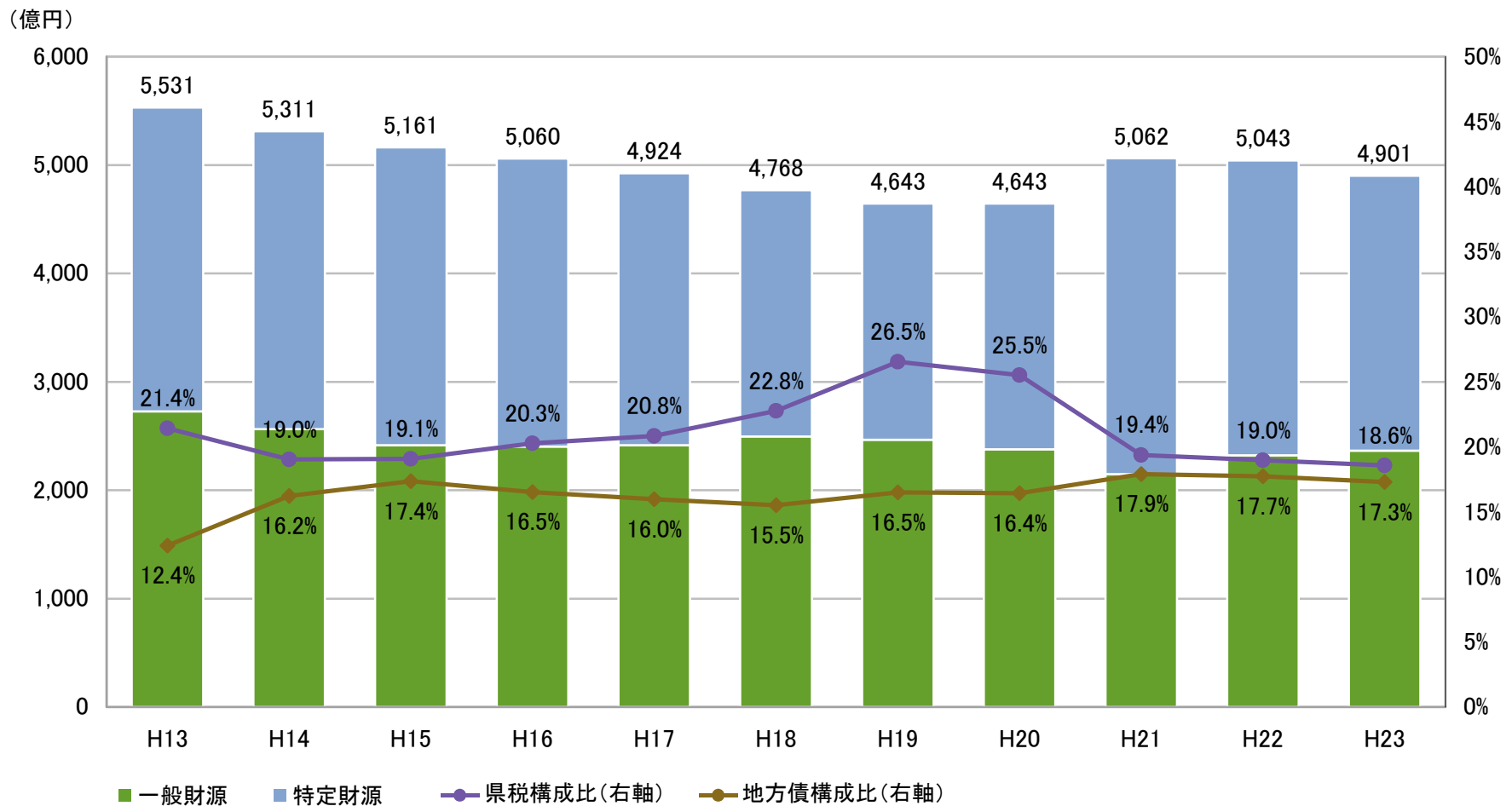
核燃料税の見直し(平成23年11月10日施行)



3. 福井県の財政運営

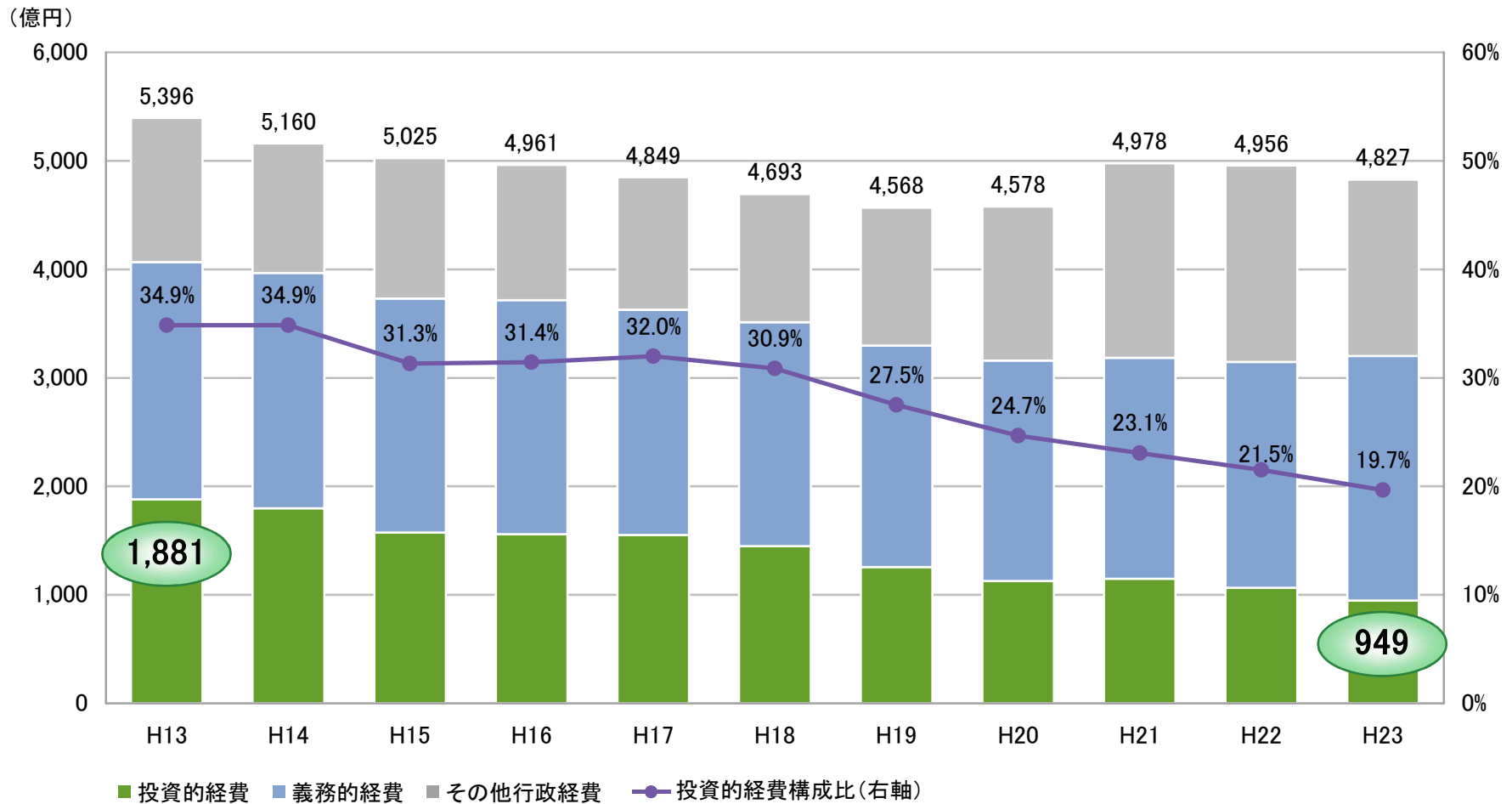
(1) ①福井県普通会計歳入決算の推移

核燃料税の見直しや企業立地の促進を図り、
県税等一般財源による安定的な歳入確保の努力を継続



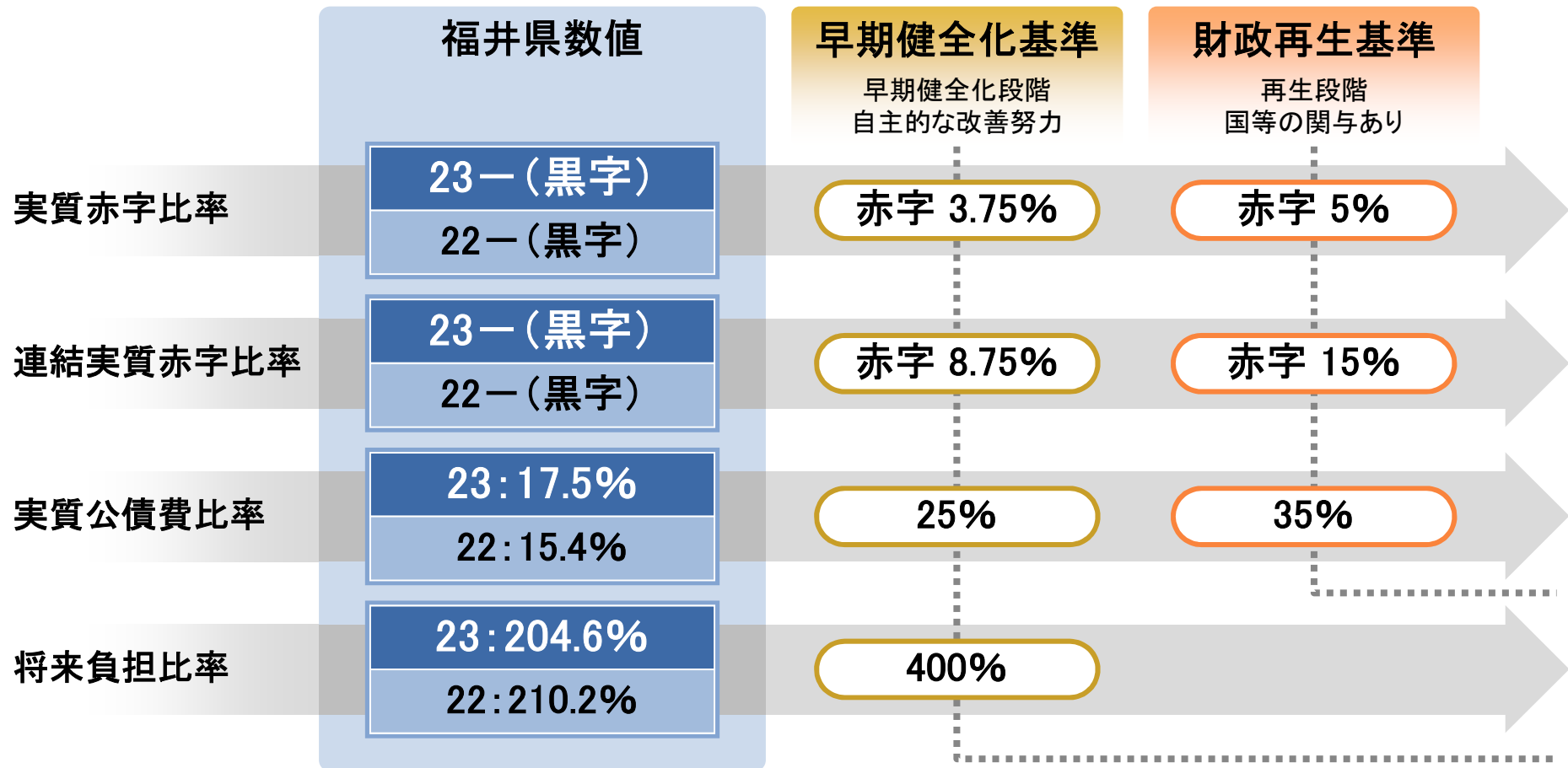
(1) ②福井県普通会計歳出決算の推移

投資的経費は10年前の約半分に引き続き歳出抑制への努力を継続



(3) 財政健全化法における財政指標

各種指数は、引き続き健全性を維持！

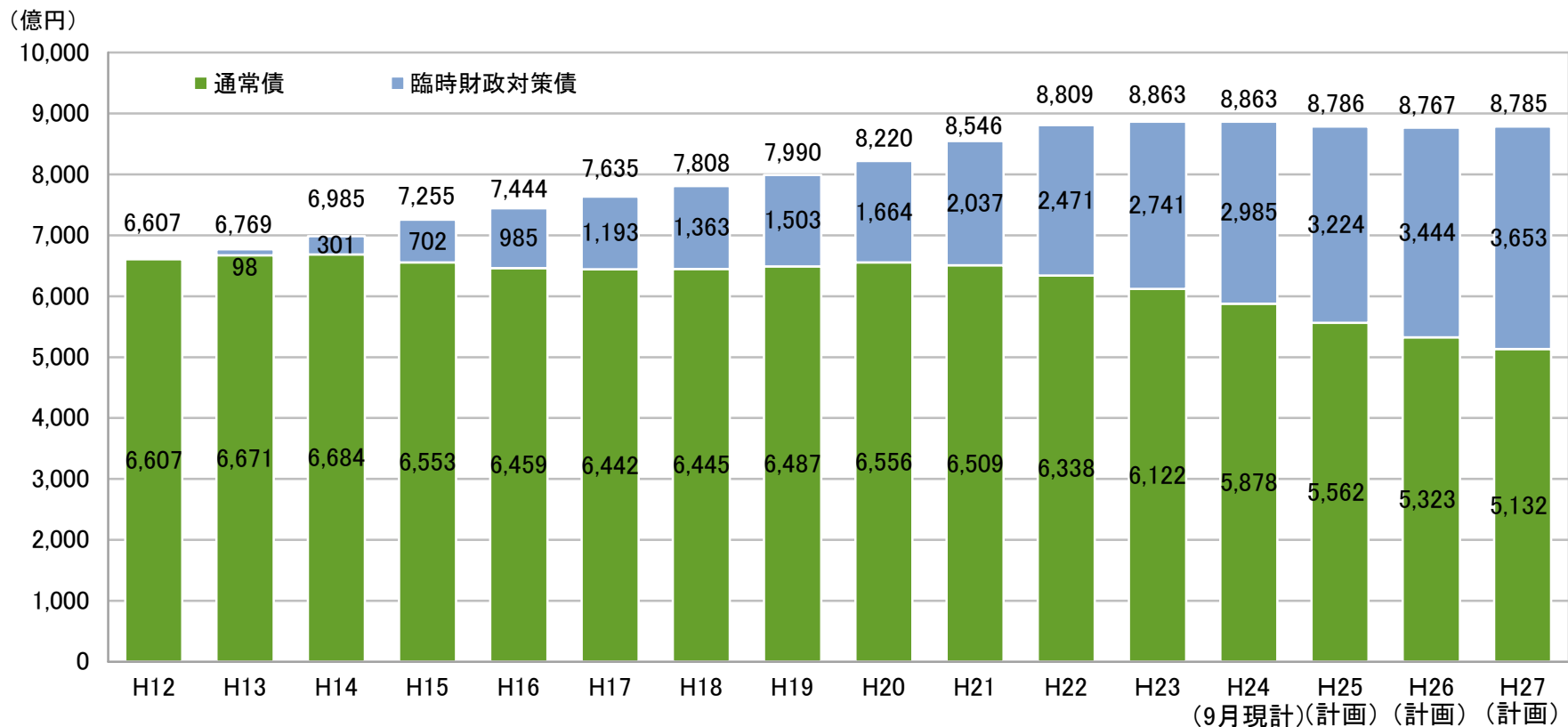


22: 平成22年度決算 23: 平成23年度決算

(3) 地方債残高の状況

臨時財政対策債の増加により、県債残高は増加傾向。一方で、通常債の残高は、平成21年度から減少

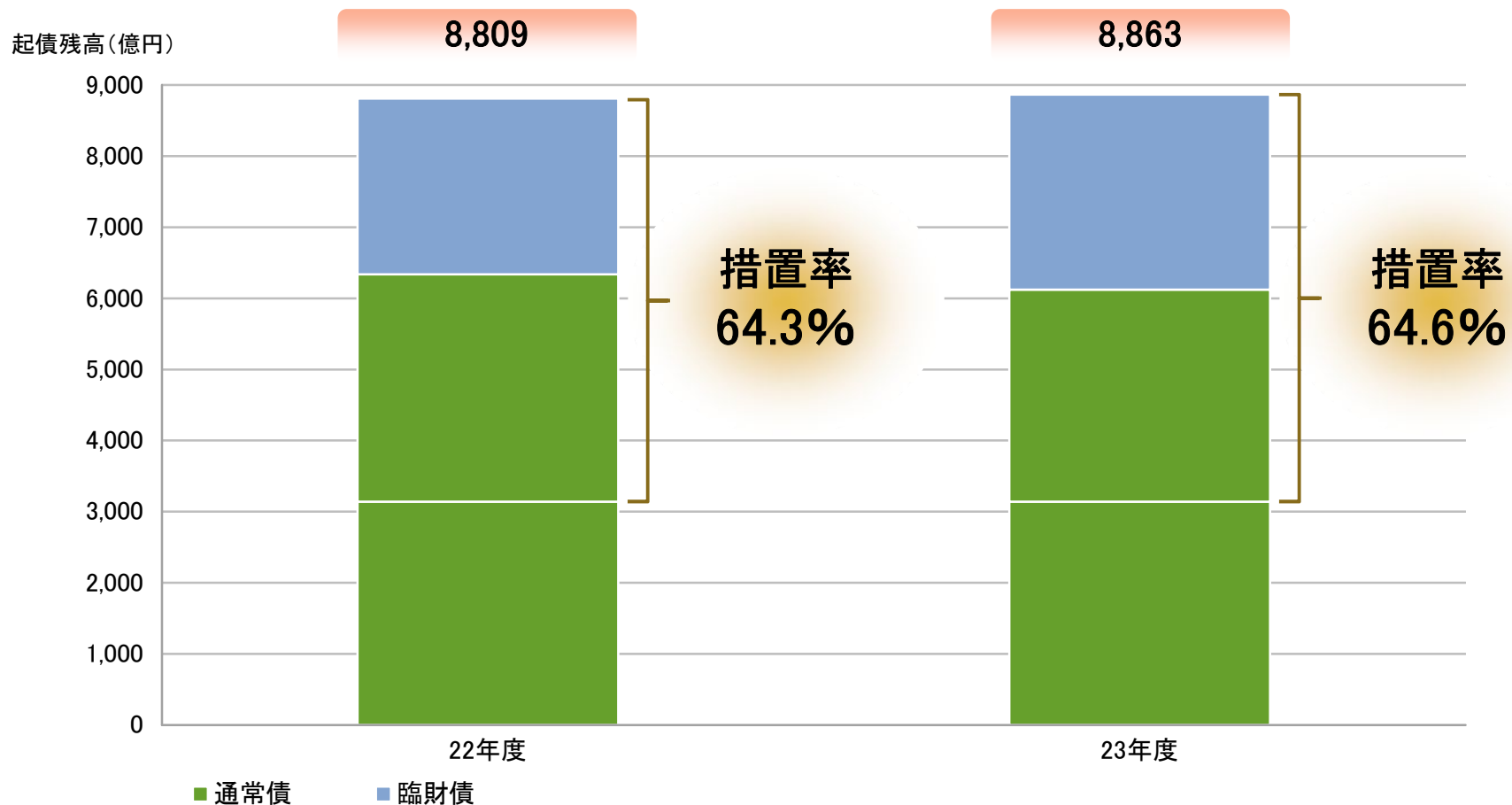
今後、中長期に予定している新幹線建設に備えるため、引き続き人件費の抑制や公共事業の重点化等により、通常債を発行抑制し、県債残高の減少に努める



※ 臨時財政対策債 地方全体の財源不足を補うために発行される起債。後年度、償還金相当額の全額について交付税措置。

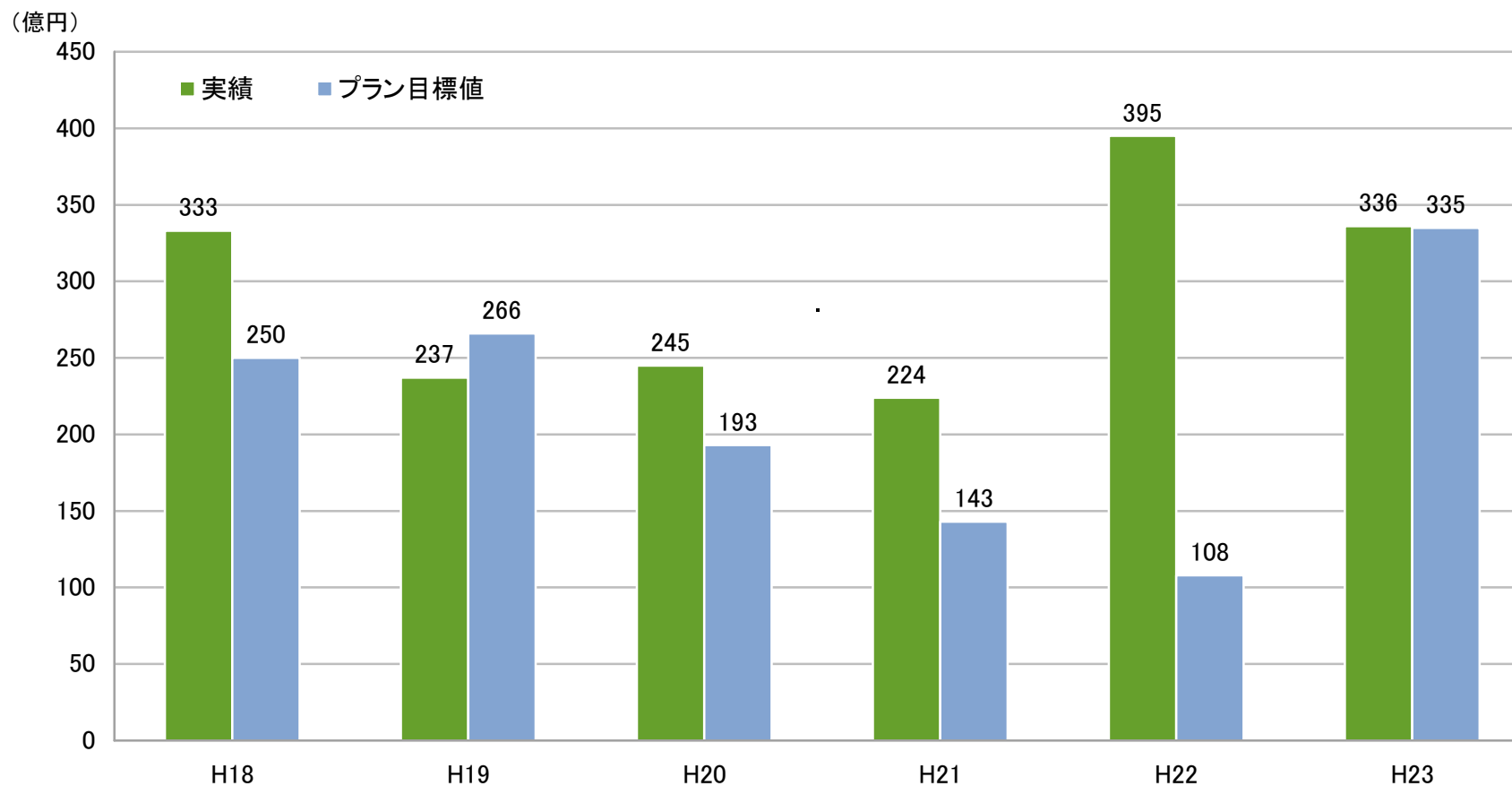
(4) 地方債残高に対する実質的な負担割合

地方債残高のうち、6割以上は国からの交付税により措置
 将来への実質的な負担割合は4割弱となっており、安定的な償還が見込まれる



(5) 財政調整基金等の残高

「財政調整3基金」の残高は、計画より大幅に増加(H22)



※「財政調整3基金」とは、財政調整基金、県債管理基金、地域振興基金をいい、いずれも年度間の財源調整が可能な基金。

※プラン目標値について、H18は行財政改革実行プラン、H19～H22は新行財政改革実行プラン、H23は第3次行財政改革実行プランの目標値を示す。

※県債管理基金について、満期一括償還債の積立額は除く。

(6) 企業会計等の財政状況

企業会計等において資金不足は生じていない

(百万円)

収益的収支	平成22年度				平成23年度			
	収入	支出	差引	資金剰余額	収入	支出	差引	資金剰余額
病院	18,631	19,019	△388	6,650	19,243	19,808	△565	7,788
工業用地等造成	696	706	△10	2,225	190	162	28	2,455
工業用水道	689	463	226	1,963	686	499	187	1,913
水道用水	2,660	2,316	344	6,145	2,591	2,281	310	6,995
臨海下水道	659	491	168	2,405	658	566	92	2,462
港湾事業	428	422	6	27	436	428	8	25
下水道事業	1,081	910	171	970	1,074	935	139	1,049

※ 病院事業会計の単年度赤字は、新病棟建設の減価償却によるもの。引き続き安定的な経営を進めていく。

(7) 出資団体の経営状況

**新行財政改革実行プランに基づき、
土地開発公社と住宅供給公社について、平成22年度末に解散**

(百万円)

	土地開発公社		住宅供給公社		道路公社		ふくい農林水産支援センター	
	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
当期損益	△2,232	-	△454	-	△12	△39	△11	△0
正味財産	117	-	15	-	△636	△675	1,299	1,299
債務保証 損失補償	0	-	0	-	0	0	22,071	22,071

今後の方針	平成22年度末に解散	平成22年度末に解散	平成34年度に解散を決定	旧林業公社のあり方について存廃を含めた抜本的な経営の見直しの検討を行うため検討委員会を設置し、今年度中を目途に取りまとめ
-------	------------	------------	--------------	--

(8) 平成23年度 普通会計バランスシート

地方交付税の振替財源である臨時財政対策債の増加により、負債は増加傾向
 (負債の総額 昨年度比 +15億、+0.1%)

資産の部	2,719,247
1 公共資産	2,460,112
有形固定資産	2,458,101
①生活インフラ・国土保全	1,711,908
②教育	189,972
③福祉	22,165
④環境衛生	24,346
⑤産業振興	413,696
⑥警察	29,309
⑦総務	66,705
売却可能資産	2,011
2 投資等	213,442
投資および出資金	70,382
貸付金	71,658
基金等	63,682
その他	7,720
3 流動資産	45,693
現金預金	42,816
未収金	2,877

負債の部	1,046,874
1 固定負債	940,476
地方債	810,166
長期未払金	5,220
退職手当引当金	125,090
2 流動負債	106,398
翌年度償還予定地方債	87,374
未払金	997
翌年度支払予定退職手当	11,800
賞与引当金	6,227
純資産の部	1,672,373
1 公共資産等整備国庫補助金等	811,270
2 公共資産等整備一般財源等	1,320,870
3 その他一般財源等	△459,963
4 資産評価差額	196
負債・純資産合計	2,719,247

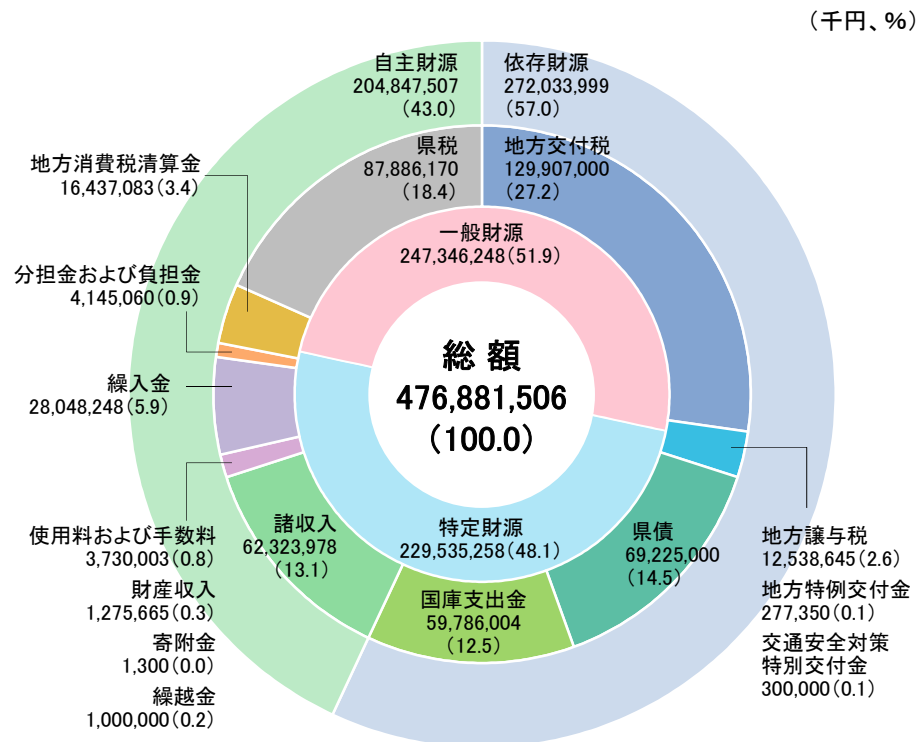
※ 端数の関係で、合計があわないことがある。

(9) 平成24年度福井県予算(一般会計)

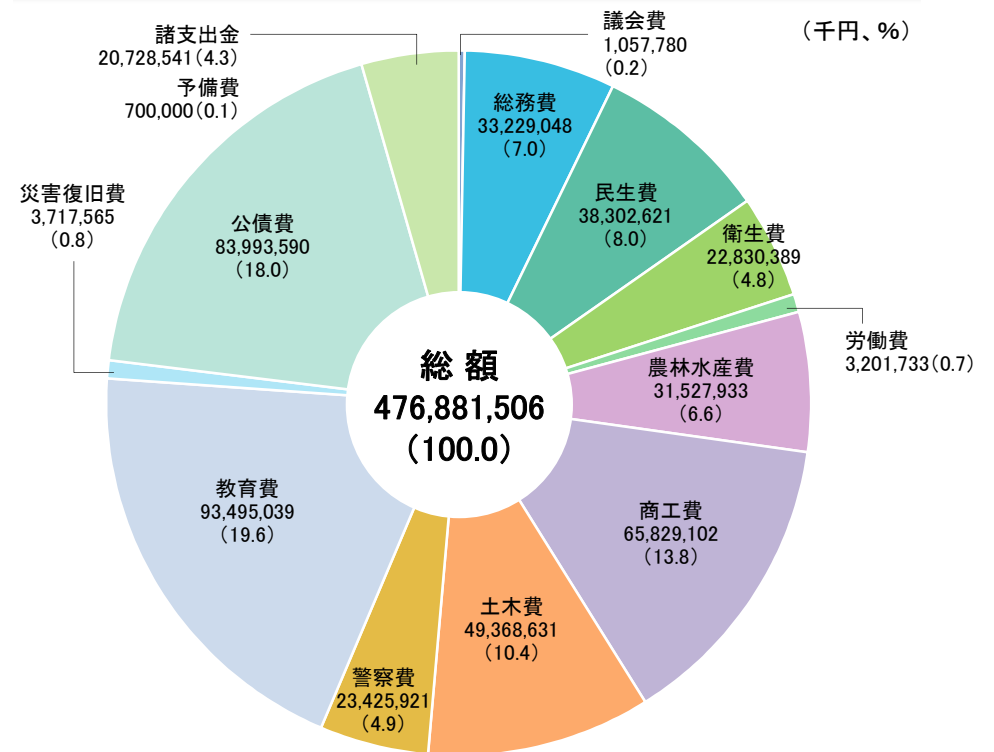
一般会計予算総額は、4,769億円と対前年比4.9%減

国の経済対策による基金事業の減はあるものの、福井新々元気宣言の実現に重点を置き、5つの重点施策を中心に予算を編成。国の経済対策が始まる前の平成19年度と同程度の予算規模。

歳入



歳出



4. 行財政改革の実施

(1) 第三次行財政改革実行プランについて

第三次行財政改革実行プラン

推進期間：平成23年度～27年度

次の基本理念に基づき、行財政改革を効果的に推進します

- スピーディ行政の実行 県民ニーズにこたえるサービスのスピードアップを図ります。
- 「つながり力」を活かした県政の実現 民間や他県、大学など多様な主体とともに政策課題を解決し、サービスを拡大・向上します。
- 「最大活用」によるコンパクト県政の強化 持てる「ヒト・モノ・カネ」を最大活用し、スリムでコンパクトな行財政体制の中で最大の効果を生み出します。

また、これまでの行政コストを縮減する「量的な改革」に加え、行政効率の向上や新たな政策を行うための「質的な改革」を積極的に進めます

- 質の行革の推進 県民主体の政策・サービスの推進、多様な主体・手法による県民サービスの展開、先進的な政策の展開など質の行革を推進します。
- 最適な行政運営の推進 職員や施設、予算など限りある行政資源を最大活用し、複雑化・多様化する行政サービスを効率的に提供できる最適な行政運営を推進します。
- 健全財政の堅持 歳入の確保、歳出の合理化を進め、新たな行政需要にも対応できる財政基盤を確立し、将来に向けて健全な財政運営を堅持します。

(2) 第三次行財政改革実行プランにおける財政指標の目標

地方財政健全化法に基づく健全化基準の維持

- 将来負担比率は、現状の210%を超えない。
- 実質公債費比率は、自主的な県債発行が可能となる18%を下回る水準を維持。

県債残高の削減

- 平成23年度から平成27年度までに、臨時財政対策債を除く県債残高を約1,000億円減少。

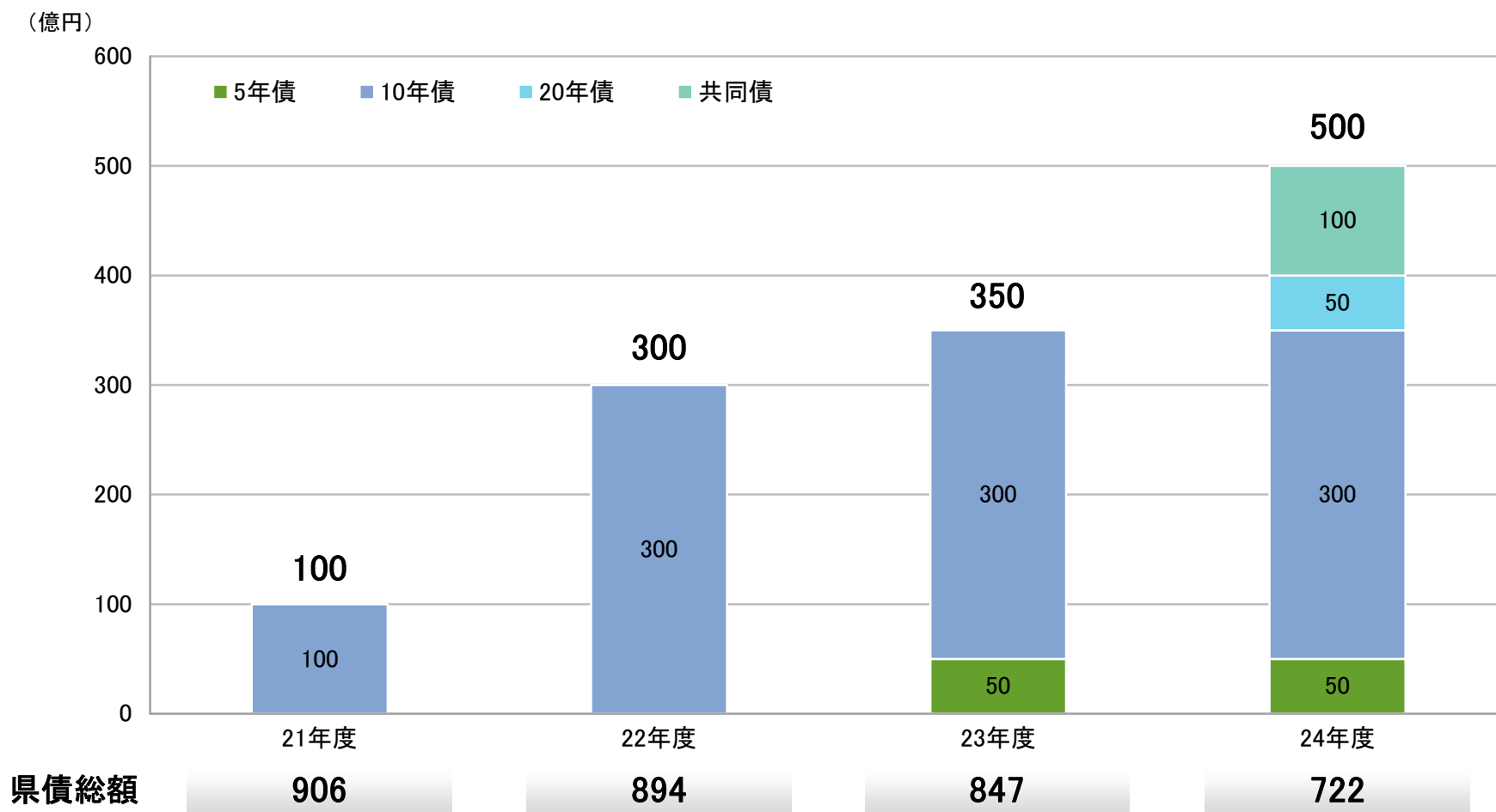
財政調整のための基金残高の確保

- 標準財政規模に対し、5%程度にあたる約130億円を確保。

5. 福井県債のご紹介

(1) 市場公募債の発行状況

平成21年度の市場公募化以降、市場公募債の発行額を増額
平成24年度は共同債と個別債合わせて500億円を発行予定



(2) 平成24年度の発行計画

資金調達の更なる多様化を進めるため、
平成24年度から共同債、20年債を新規に発行予定

平成24年度の公募債発行計画

(億円)

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	未定	計
共同債										50	50				100
個別債	5年債										50				50
	10年債					200						100			300
	20年債													50	50
計						200				50	100	100		50	500

※ 出納整理期間(4月～5月)の借入を予定しているため、6月～翌年5月までを1年としている。

(3) 平成24年度第1回市場公募債のご紹介

福井県は、今年度の第1回市場公募債を
以下の条件にて発行します

- 発行額 200億円
- 償還年限 10年(満期一括)
- 発行日 平成24年10月26日(金)

福井県債への投資を検討いただく参考資料として、(株)格付投資情報センター(R&I)から以下のとおり格付を取得

投資格付

AA
(安定的)

主な評価内容

- 高速道路ネットワークの整備が順調に進んでおり、交通インフラの整備とともに域内経済の発展が期待できる。
- 西川知事の下、健全な財政基盤の確立に向けた行財政改革が積極的に行われている。

福井県の財政運営については適切な評価をいただいております、引き続き安定した償還を実施してまいります。みなさまには、安心して投資いただきたいと思いますと考えております

福井県債に関するお問合せ先

- 福井県総務部財務企画課
- 住所 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号
- TEL 0776-20-0233
- FAX 0776-20-0629
- E-mail: zaimu-kikaku@pref.fukui.lg.jp
- <http://www.pref.fukui.lg.jp/gyosei/gyozaisei/cat4309/index.html>

